



S-Stage α 取扱説明書

商品番号：01-05-421

適合車種およびフレーム番号：

Live Dio	SK50MR	AF34-1000001~1084598	Live Dio ST	SK50MT-VI	AF35-1414329~1458440
	SK50MS	AF34-1200001~1314577	Live Dio J	SK50MY-VII	AF34-3000001~
	SK50MT	AF34-1500001~1564424		SK50MY-VIII	AF34-3000001~
	SK50MV	AF35-1500001~	Live Dio ZX	SK50MR-III	AF35-1000001~1080618
	SK50MV-YA	AF35-1500001~		SK50MS-III	AF35-1200001~1266550
	SK50MW	AF35-1700001~		SK50MT-V	AF35-1400001~1459965
	SK50MY	AF35-2000001~		SK50MT-YC	AF35-1400001~1458875
Live Dio チェスタ	SK50MY-II	AF35-2000001~		SK50MV-V	AF35-1500001~
	SK50MS-IV	AF34-1233145~		SK50MV-YB	AF35-1500001~
	SK50MW-IV	AF34-2000001~		SK50MW-YC	AF35-1500001~
Live Dio SR	SK50MR-II	AF35-1000001~1078328		SK50MW-V	AF35-1700001~
	SK50MS-II	AF35-1200001~1267150		SK50MW-YD	AF35-1700001~
	SK50MT-II	AF35-1400001~1459615		SK50MY-V	AF35-2000001~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◆慣らし運転は、40 km/h 以下の速度で、100 km 以上行って下さい。又、アクセル開度は1/2 以下で行って下さい。
- ◆慣らし運転中はガソリンタンクにもエンジンオイルをガソリン100 に対してエンジンオイル1 の割合で入れ、混合して下さい。
- ◆ノーマルキャブレターのメインジェットを#5 ~ 10 番程度上げて下さい。
- ◆燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
- ◆スパークプラグはキット内に含まれていますが、焼け具合により熱価を設定してください。尚、必ず抵抗入りのスパークプラグを使用して下さい。
- ◆ノーマルC D I ユニットでは、十分なパワーを発揮する事が出来ません。C D I ユニットの交換を行って下さい。

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2 輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2 種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
- ◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適合車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品の取り付けには、上記適合車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うことをお勧めします。
- ◎取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎バックギン的一部、ボルト、ベアリングは再使用しますが、損傷、劣化が激しいものは再使用せず、必ず新品のものををご使用下さい。
- ◎ウエイトローラー、スライダー、V ベルトは消耗部品です。ムーバブルドライブフェイスやランププレートも含めて、走行距離1,000 km 以下ごとに必ず点検し、摩耗や損傷が激しいものは必ず新品部品と交換して下さい。又、エンジン仕様や使用状況によって消耗の度合いが変わりますのでご注意ください。

⚠ 注意

下記内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、バックギン類の再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告

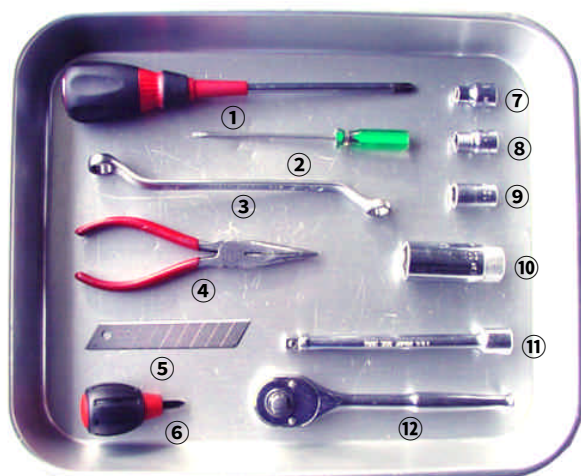
下記内容を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させるときは、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

～商品内容～



番号	部 品 名	数量	番号	部 品 名	数量
1	シリンダー	1	9	スパークプラグ BR8HSA	1
2	ピストン	1	10	ムーバブルドライブフェイス	1
3	ピストンリング	2	11	ランププレート	1
4	ピストンピン	1	12	スライドピース	3
5	ピストンピンサークリップ	2	13	ウエイトローラー 8.0 g	6
6	シリンダーヘッドガスケット	1	14	クラッチセンタースプリング	1
7	シリンダーガスケット	1	15	クラッチスプリング	3
8	エキゾーストパイプガスケット	1			



Sステージ取り付けに使用する工具等

- ① プラスドライバー中
- ② マイナスドライバー極小
- ③ メガネレンチ 10 - 12
- ④ ラジオペンチ
- ⑤ カッターナイフまたはスクレーパー
- ⑥ スタッピブラスドライバー
(7レ-ムNo. AF34-2000001, AF35-1500001 への車両の場合使います)
- ⑦ ボックスレンチ 8 mm
- ⑧ ボックスレンチ 10 mm
- ⑨ ボックスレンチ 12 mm
- ⑩ ボックスプラグレンチ 20.6 mm
- ⑪ エクステンションバー中
- ⑫ ラチェットレンチ
- その他 ウェス
- 2ストロークエンジンオイル

- ◎性能、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承ください。
- ◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。但し、修理又は、交換等にかかる一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
- ◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

～Sステージ 取り付け要領～

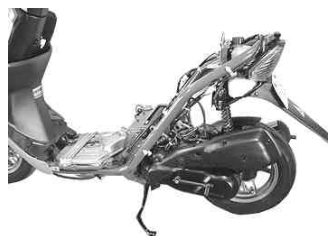
○水平な場所でセンタースタンドで車両を確実に支えます。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。

○取り外し

★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにして下さい。

★取り外したボルトやナットは無くさないよう、どの場所に使用するのかわかるように保管して下さい。

1. カバー類の取り外し



◇サイドカバー、アンダーカバー、フロアステップ、ラゲッジボックス、ボディーカバーを取り外します。

2. フューエルタンクをずらす



◇フューエルタンクの4本のボルトをフロアプレートと共に取り外します。

使用工具

メガネレンチ10-12



◇フューエルタンクをずらし、作業の邪魔にならないようにします。フレームにキズがつかないようにウエスをはさみます。

3. マフラーの取り外し



◇シリンダー側のキャップナット2個を取り外します。

使用工具

メガネレンチ10-12



◇ステー部のボルト2本を取り外します。

使用工具

BOXレンチ12mm

エクステンションバー中

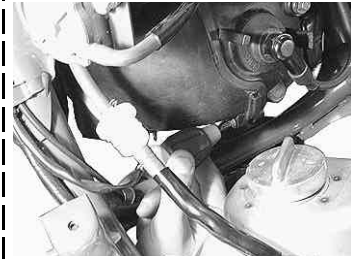
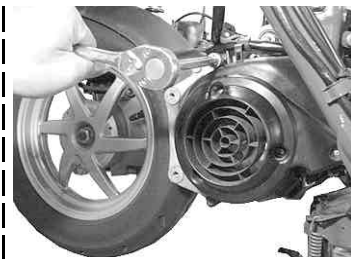
ラチェットレンチ



4. ファンカバーの取り外し



◇フューエルチューブをファンカバーから取り外します。



◇ボルト3本とタッピングスクリュー（フレームNo.AF34-2000001～,AF35-1500001～の車両）を取り外し、ファンカバーを取り外します。

使用工具

BOXレンチ10mm

エクステンションバー小

ラチェットレンチ

スタッドプラスドライバー



◇配線を取り外します。

5. エアダクトカバーの取り外し



◇ボルトを緩めます。

使用工具

BOXレンチ8mm

エクステンションバー中

ラチェットレンチ



◇タッピングスクリューを緩めます。

使用工具

プラスドライバー大



◇エアダクトカバーを取り外します。



◇コネクティングラバーをこじて外します。

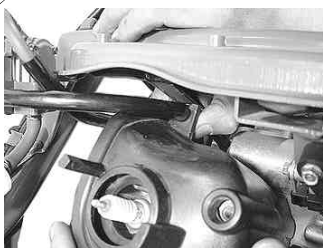
6. シリンダーのシュラウドの取り外し



◇プラグキャップを取り外します。



◇ボルト2本（フレームNo.AF34-2000001～,AF35-1500001～の車両は1本）を取り外します。



◇負圧チューブをシュラウドから取り外します。



◇シュラウドを取り外します。

7. プラグを取り外します。

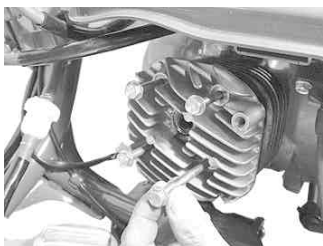


使用工具
BOXプラグレンチ 20.6mm
ラチェットレンチ

8. シリンダーヘッドとシリンダーの取り外し



◇4本のボルトを対角に何回かに分けて緩めます。
使用工具
BOXレンチ 10mm



◇シリンダーヘッドを取り外します。
★かたい場合はプラスチックハンマーで軽くたたいて取り外します。



◇シリンダーを取り外します。



◇ガスケットをはがします。

9. ウエスを詰める



◇クランクケース内にゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。

10. ピストンの取り外し



◇サークリップの片側を外します。
使用工具
マイナスドライバー 極小

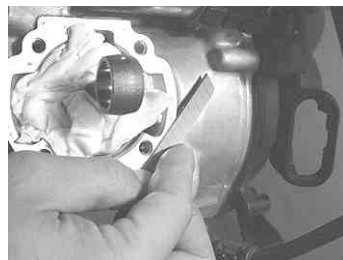


◇ピストンピンを抜いてピストンを外します。



◇ベアリングを外しておきます。

11. シリンダーの取り付け面をきれいにする



◇カッターナイフやスクレーパーなどでガスケットのカスを取り除きます。



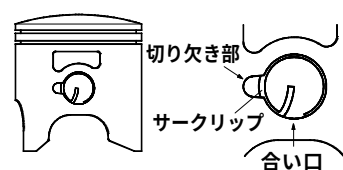
◇ウエスできれいに拭き取ります。

○取り付け

1. キットのピストンにサークリップを片側だけ取り付けます。



使用工具 ラジオペンチ
★この時、サークリップを回してみ、しっかりセットされているか確認して下さい。
★サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。



2. ピストンリング2個を文字面が上になるように取り付けます。



3. 各部にオイルを塗る



◇ピストンリングにオイルを塗ります。



◇ピストンピン穴にオイルを塗ります。



◇ピストンピンにオイルを塗ります。



◇ベアリングにオイルを塗ります。

4. ピストンの取り付け



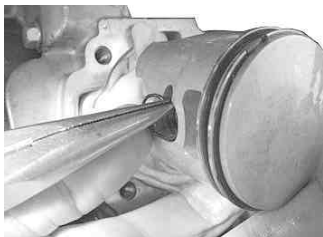
◇コンロッドにベアリングを入れます。



◇ピストンをピストンピンで取り付けます。



★ピストンは矢印が下向きになる方向で取り付けます。



◇もう片方にサークリップを取り付けます。

使用工具
ラジオペンチ

5. 詰めていたウエスを取り外します。



6. シリンダーの取り付け



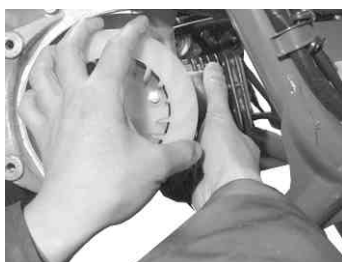
◇シリンダー内面にオイルを塗ります。



◇シリンダーガスケットを取り付けます。



◇ピストンの位置決めピンにピストンリングの合口を合わせ、シリンダーを取り付けます。



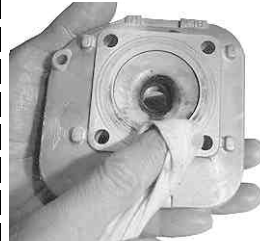
★確認！！

シリンダーが動かないように手でおさえ、ファンを回してピストンを動かしてみます。ここでスムーズに動かないと、ピストンリングがピストンにしっかりとセットされていないことがあります。この場合はシリンダーを取り付け直して下さい。



◇ヘッド取り付け面のホコリやオイルをきれいに拭き取ります。

7. シリンダーヘッドの取り付け



◇取り付け面をきれいに拭き取ります。



◇シリンダーヘッドにボルト4本を取り付けておきます。



◇ヘッドガスケットをシリンダーヘッドに取り付けておきます。

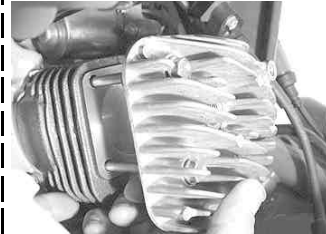
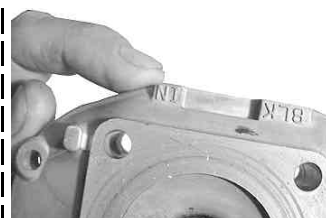


シリンダー
ヘッド側

シリンダー側

シリンダーヘッド
ガスケット断面

◇シリンダーヘッドガスケットの出ている面を、シリンダーヘッドの方向に取り付けます。



◇方向に注意して取り付けます。



◇BOXレンチを使い、手で仮締めします。

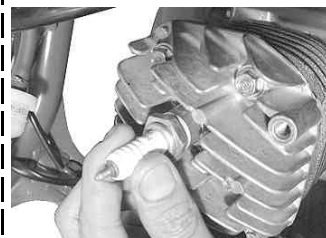
使用工具
BOXレンチ 10mm



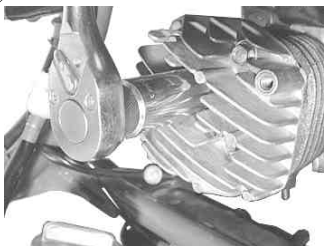
◇キックスターターを数回動かしながら、ボルト4本を対角に何回かに分けて本締めします。

使用工具
BOXレンチ 10mm
ラチェットレンチ
締め付けトルク
10N・m (1.0kgf・m)

8. プラグの取り付け



◇プラグをまず手で締めます。



◇本締めします。

使用工具

BOXプラグレンチ 20.6mm

ラチェットレンチ

締め付けトルク

14 N・m (1.4 kgf・m)

9. シリンダーのシュラウドの取り付け

◇シュラウドを取り付けます。

◇ボルト2本 (フレームNo.AF34-2000001～, AF35-1500001～の車両は1本) を取り付けます。

使用工具

BOXレンチ 10mm

ラチェットレンチ

締め付けトルク

10 N・m (1.0 kgf・m)



◇負圧チューブをシュラウドに取り付けます。

◇コネクティングラバーを取り付けます。

10. エアダクトカバーの取り付け

◇エアダクトカバーを取り付け、ボルトを締めます。

使用工具

BOXレンチ 8mm

エクステンションバー中

ラチェットレンチ

締め付けトルク

10 N・m (1.0 kgf・m)

◇タッピングスクリューを取り付けます。

使用工具

プラスドライバー大

締め付けトルク

4 N・m (0.4 kgf・m)

11. ファンカバーの取り付け



◇配線をファンカバーに取り付けます。

◇プラグキャップを取り付けます。

◇ファンカバーをボルト3本とタッピングスクリュー (フレームNo.AF34-2000001～, AF35-1500001～の車両) で取り付けます。

使用工具

BOXレンチ 10mm

エクステンションバー小

ラチェットレンチ

スタビプラスドライバー

締め付けトルク

ボルト

: 10 N・m (1.0 kgf・m)

タッピングスクリュー

: 1 N・m (0.1 kgf・m)



◇フューエルチューブをファンカバーに取り付けます。

12. フューエルタンクをもどす



◇フューエルタンクを元の位置にもどし、フロアプレートと共に4本のボルトで取り付けます。

使用工具

メガネレンチ 10-12

締め付けトルク

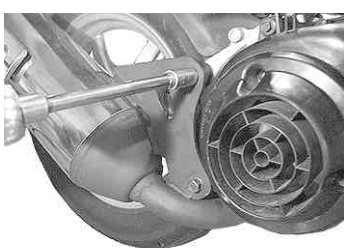
10 N・m (1.0 kgf・m)

13. マフラーの取り付け

◇シリンダーとマフラーの間に付属のエキゾーストガスケットを入れ、マフラーを取り付けます。



◇シリンダー側のボルト2本とステア部のボルト2本を仮締めします。



◇シリンダー側のボルト2本から本締めします。

使用工具

メガネレンチ 10-12

BOXレンチ 10mm

エクステンションバー中

ラチェットレンチ

メガネレンチ 12-14

締め付けトルク

シリンダー側

: 18 N・m (1.8 kgf・m)

ステア部

: 27 N・m (2.7 kgf・m)

14. カバー類の取り付け

◇サイドカバー、アンダーカバー、フロアステップ、ラゲッジボックス、ボディーカバーを取り付けます。

15. エンジン始動

◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか確認します。

◇エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。

◇風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動して下さい。約5分間、アイドリングでしておきます。

◇エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれがないか点検して下さい。

16. お願い

◇排気量をアップしたにもかかわらず、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となります。一般公道を走行される場合は、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行って下さい。

◇原付2種の登録を済ませ、付属の原付2種マークをお貼り下さい。

17. ならし運転について

◇K I Tを取り付け、最初の500kmはスロットル開度を3/4までにおさえて走行して下さい。又、この期間中、絶対に最高速は出さないで下さい。

～ハイスピードプーリー 取り付け要領～

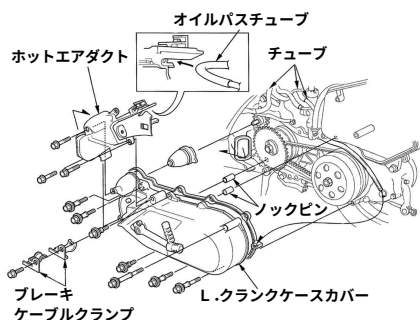
○取り外し

- ・水平な場所でセンタースタンドにて車両を確実に支え、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている状態）に行ってください。
- ・ホコリやオイル等の汚れを取り除き、きれいにしながら各パーツを取り外していくようにして下さい。
- ・取り外したボルト、ナット類は無くさないよう、どの場所に使用するか解かるように保管して下さい。
- ・ドライブベルト、プーリーのフェイス面に油脂等を付着させないで下さい。
- ・L.クランクケースカバーを外した状態でセルスターターを回さないで下さい。

1. エアクリーナーケースカバーを取り外して下さい。

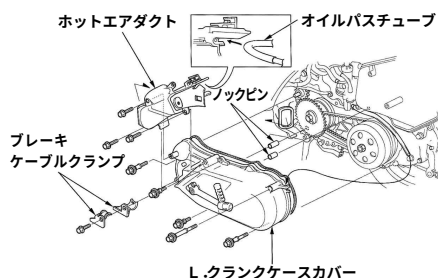
2 a. SK 50 MV及びSK 50 MW以外
ホットエアダクト、L.クランクケースカバー、ブレーキケーブルクランプ、ノックピンを取り外して下さい。

この時、ホットエアダクトにクランプしてあるチューブ類をホットエアダクトから外して下さい。

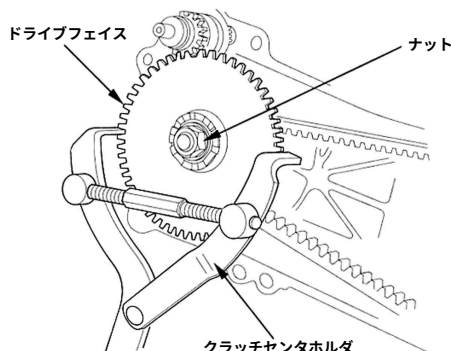


2 b. SK 50 MV及びSK 50 MW

ホットエアダクト、L.クランクケースカバー、ブレーキケーブルクランプ、ノックピンを取り外して下さい。



3. クラッチセンタホルダにてドライブフェイスを固定し、固定ナットを取り外して下さい。



4. ワッシャ、ドライブフェイス、スターターピニオン、ドライブベルト、ムーバブルドライブフェイス ASSY. の順で取り外して下さい。

○取り付け

・ドライブベルト、⑩ムーバブルドライブフェイス、⑬ウエイトローラーに油脂類を付着させないで下さい。

1. ⑩ムーバブルドライブフェイスに⑬ウエイトローラーがセットされている事を確認し、⑫スライドピースがセットされた⑪ランブプレートに⑩ムーバブルドライブフェイスに取り付けて下さい。

2. 項目（1）で組み立てた⑩ムーバブルドライブフェイス ASSY. を⑬ウエイトローラーが落下しないよう⑪ランブプレートを押さえながら車体に取り付けて下さい。

3. スターターピニオンの先端部にグリスを少量塗布し、車体に取り付けて下さい。

4. ドライブベルトをクラッチの溝に掛け、ムーバブルドライブフェイス ASSY. とドライブフェイスで挟むように取り付けて下さい。この時、スターターピニオンとドライブフェイスのセレーションを確実に合わせるよう取り付けて下さい。

5. STDワッシャ及びSTDナットにエンジンオイル等を塗布し、クラッチセンタホルダにてドライブフェイスを固定し、ナットを締め付けて下さい。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

ドライブフェイス固定ナット

$T = 58.8 \text{ N} \cdot \text{m}$

$(6.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

6 a. SK 50 MV及びSK 50 MW以外
ノックピン、ブレーキケーブルクランプ、L.クランクケースカバー、ホットエアダクトの順で取り付けして下さい。この時、ホットエアダクトにチューブ類を元通りクランプして下さい。

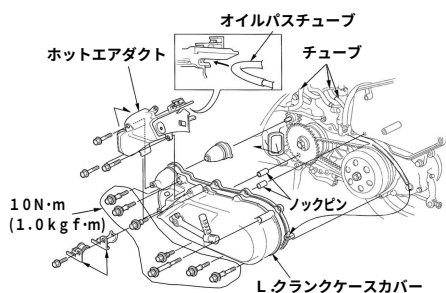
注意：規定トルクを必ず守って下さい。

L.クランクケースカバー

固定ボルト

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$

$(1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



6 b. SK 50 MV及びSK 50 MW

ノックピン、ブレーキケーブルクランプ、L.クランクケースカバー、ホットエアダクトの順で取り付けして下さい。

この時、L.クランクケースカバーガスケットがL.クランクケースカバーの溝に確実に取り付けして下さい。

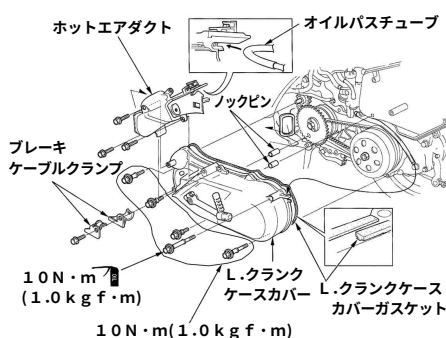
注意：規定トルクを必ず守って下さい。

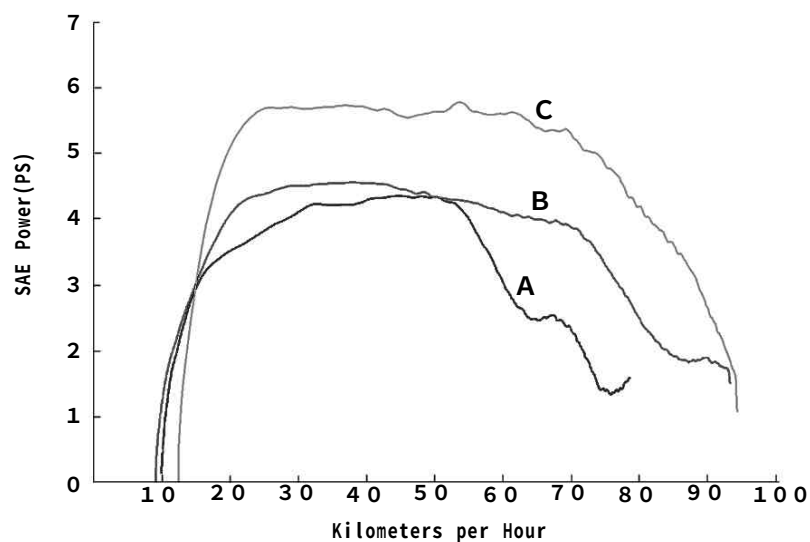
L.クランクケースカバー

固定ボルト

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$

$(1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$





グラフ	エンジン	ウエイトローラー	クラッチセンター スプリング
グラフA	ノーマル	8.5 g	ノーマル
グラフB	ノーマル	7.5 g	02-01-7002
グラフC	S-Stege	8.0 g	ノーマル

テスト車両：D i o Z X A F 3 5 S K 5 0 M W - Y D

※年式、取り付けパーツによりセッティングが異なりますので、装着部品は目安として下さい。

～セッティングアドバイス～

- 年式、取り付けパーツによりセッティングが異なりますので、お客様の好みのセッティングを行う目安として下さい。
- ノーマルC.D.I.ユニットでは、十分なパワーを発揮する事が出来ません。C.D.I.ユニットの交換を行って下さい。
- マフラーを交換された場合は、付属のクラッチスプリング、クラッチセンタースプリングに交換することをお勧めします。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>